

# 会員の ひろば

北海道医報では、特定の個人・団体を誹謗、中傷する内容等を除いた幅広い多様性のあるご意見を掲載させていただいております。

## 陶芸家 柴山勝の思い出

函館市医師会  
江口眼科病院

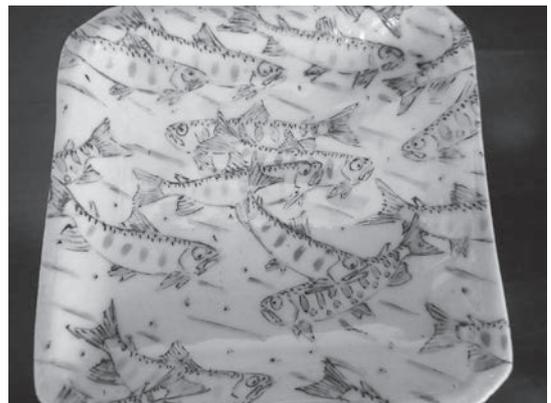
えぐちしゅういちろう  
江口秀一郎

東京から函館に戻り今年で丁度25年になります。函館に戻って直ぐ、散歩中に、あるお店の展示スペースに置かれた5卓の絵皿に目が吸い寄せられました。絵皿には津軽海峡でのイカ漁の光景が、日の入りから日の出までの時間経過に分かれて5枚の皿に描かれており、その緻密な描写とどこかユーモアを感じさせる絵柄がとても魅力的に感じられました。恐る恐るギャラリーに入って作品を再度眺めてみると、灰色の胎土にしっとりとした落ち着いた色彩で色絵が描かれており、やはり、どこか骨董を思わせるデザインと、意匠の独自性が際立っていました。お店の方に作家の名前を伺ってみると柴山勝という方で、北海道を代表する陶芸家であること、函館郊外の戸井町にお住まいで年に数回、函館、札幌、東京の決まったギャラリーで個展をされることを教えてくださいました。

その後、函館のギャラリーで開催された個展に伺ってみると、良いなと思った作品は開催初日に売れてしまう人気ぶりでしたが、多数の作品を見る事が出来ました。日曜日に訪れたそのギャラリーには丁度、柴山さんもいらしており、ご自分の作品の説明を熱心にして下さいます。皿に描かれているのがヒラツメガニとイシガニで、そのオスとメスの違いも絵に描き込んであること、早朝出かけてスケッチした秋草の葉の端に朝露がついており草陰から出てきたコオロギが片隅に描かれていることを熱心に話し続けられます。当直の時間も迫り、そろそろ病院に帰らねばならぬという私の内心の焦りには全く気付くことなく、ご自分の描いた作品の世界を心から嬉しそうに話す柴山さんの姿がどこか浮世離れして、今時こんな方が本当にいらっしゃるんだと、感嘆とも呆れたとも言えるような気分になると共に、

この人絶対血液型B型だろうなーという考えがぼんやりと頭に浮かんできたのを覚えております。

その後、彼の個展がある度に丸井今井札幌本店や青玄洞、東京渋谷のしぶや黒田陶苑等を訪れるようになり、時には戸井の柴山さんのお宅を訪れ、今度はどんな題材に夢中になっているのかな？と偵察に伺うようになりました。私の柴山コレクションも少しずつ増えて行き、戸井町の風景や海の魚たち、溪流の魚たち（写真）、野に咲く花々等どれも魅力的な作品でした。柴山さんはスケッチブックを片手に写生を重ね、彼が見つめた道南の風景を、植物を、動物を、生き生きと、時にユーモラスに描いていきます。柴山さんの眼差しはあくまで温かく、かつ優しく、その絵は難解に走ることなくどこまでも平明で、柴山さんの作品を眺めていると、柴山さんの見つめた景色や野に遊ぶ動物世界に共に足を踏み入れて、一緒に遊んでいるような柴山さんが作品に籠めた幸せで温かい時間を感じることができます。こんな所が北海道だけでなく日本中で彼の作品が愛され続けた理由の一つなのかもしれません。そんな柴山さんも奥様を数年前に亡くされてから体調がすぐれず、創作に充てる時間も限られてきました。優れた作家ではありますが高尚な芸術品より毎日使われる「うつわ作家」を目指された柴山さんの作品が散逸し、まとまった作品群を観る機会がなくなってしまうことを惜しみ、また、柴山さんを少しでも元気づけることができればと思い、函館、十字街の工藝舎というギャラリーのご夫妻と協力して2階に「柴山勝記念室」を開設する準備を始めました。柴山さんは、工藝舎の皆様と共に企画した本展示室の開設準備がほぼ整い、開設の喜びを分かち合おうとしていた2021年6月8日、誠に残念ながら77歳でご逝去され、その開設を共に喜べないことは誠に残念でなりません。しかし、日本中の多くの方に愛された柴山勝さんの作品を通して、柴山さんが見つめた命とその景色を、そしてその作品に籠められた柴山さんの幸せな時間を、この函館の地で皆様と分かち合うことができればと願っております。函館にいらっしやる機会があればどうぞ十字街の、はこだて工藝舎2階、柴山勝記念室にもお立ち寄りいただければ幸いです。



## 嫌われものコウモリ

札幌市医師会  
特別養護老人ホーム もなみの里 医務室  
やまじ せいいち  
山地 誠一

これを書いている今、オミクロン株が日本列島で荒れ狂い、新聞紙上では「感染者数が過去最多」の文字が躍っています。この駄文が掲載される頃には落ち着いていることを期待していますが、もっと毒性の強い変異株が出てくるかもしれず楽観できません。

このウイルスが武漢で「発生」した事は間違いありませんが、コウモリを介して他の動物が感染し、これを市場で売ったために広がったのか、ウイルス研究所から何らかの原因で広がったのか、真実は分かりません。しかし報道を制限し、国民に真実を知らせない。真実を知らせようとする者を排除する。私権を無視した都市封鎖。強権的な中国政府のやり方は、面子の問題だけでなく、何かを隠すためと感じたのは、私だけでしょうか。中国「共産党」が指導する「社会主義」の国、中国。「中国政治の根本を支配しているのは依然としてイデオロギーだ。マルクス・レーニン主義であり、毛沢東思想だ」という人がいますが、本当でしょうか。共産主義とは、資本主義の価値ある成果を全て引き継いで、民主主義と自由、豊かな個性をさらに発展させる。思想・信条の自由、政治活動の自由は保障される。と理解していましたが、今の中国はどうでしょうか。東シナ海、南シナ海での覇権主義。香港やウイグルでの人権抑圧。中国「共産党」以外の思想は認めない。これに反対する者を弾圧する。社会主義とは全く無縁なものと思います。

イソップ童話に「卑怯なコウモリ」のお話があります。昔、トリとケモノはいつもけんかをしていました。コウモリは「私はトリの仲間です」と言ったり、「ケモノの仲間です」と言ったり、自分の得になるようにコロコロ立場を変えていました。やがてけんかが終るときがやってきました。コウモリは今まで勝手に立場を変えてきたため、トリにもケモノにも仲間はずれにされ、暗い洞窟で過ごすようになりました。日本の民話にも同じ様な話があり、世の東西を問わず昔からコウモリは卑怯もの、信用できないものとして嫌われていたようでした。

利益だけを重視する資本による大規模森林伐採などの自然環境の破壊により、それまでにない野生動物と人類の接近が、新規感染症発生の原因という説があります。トリでもケモノでもない嫌われもののコウモリが、野生動物を代表して、人間に反撃しているのでしょうか。

## 北海道の野良猫事情

小樽市医師会  
札幌グリーン病院

やました けんじ  
山下 謙二

昔からネズミ取りの目的で船に乗せられていた猫は、わが国でも北前船と共に北海道へ連れて来られました。ヒトに捨てられた北海道の野良猫は、本州と違って冬を越すのも困難でした。近年になり、ようやく札幌や小樽にも動物保護団体が設立され、野良猫ゼロを目指して頑張っている近況です。

私は約20年前、小樽の木下病院へ単身赴任していた時、妻の実家の縁の下に住み着いた2匹の猫を保護して育てるため、小樽新光地区の現住所に家を買いました。その後近所の野良猫たちを保護しているうちに「私設動物保護シェルター」となってしまう、勤務先が札幌グリーン病院へ変わっても札幌の家に戻れず、現住所から通勤しています。

私の所属している動物関連団体は、以下の3団体です。

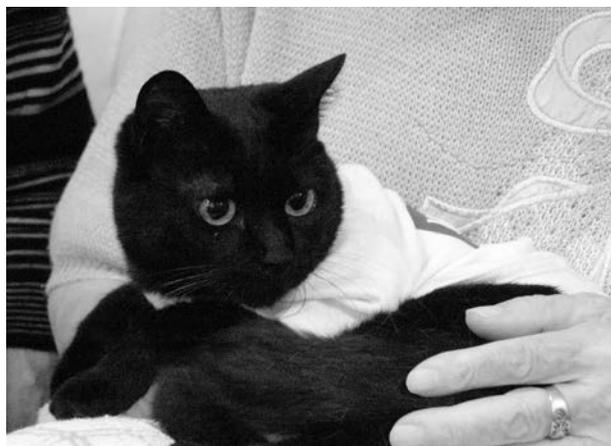
- ①ヒトと動物の関係学会  
<http://www.hars.gr.jp/>
- ②NPO法人猫と人を繋ぐ ツキネコ北海道  
<https://tsukineko.net/>
- ③NPO法人猫のシェルターアリエル（小樽）  
<https://shelter-ariel.com/>

このうち②と③は寄付金で運営されているボランティア団体ですので、皆様の温かい御支援が是非とも必要です。

何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、小樽北勉会へ勤務していた時は、この保護猫さんたちにも活躍してもらい、アニマルセラピーの効果について①で発表させていただきました。

(写真は2011年、特養朝里温泉にて)



## 学会マニアの夢がかなった！

函館市医師会  
中島内科循環器科メンタルクリニック

なかじま しげお  
中島 滋夫

函館で循環器内科の開業医をしています。私の趣味は沖縄（特に宮古島）の島唄ライブのある居酒屋に行くこと、歴史や哲学、宗教、政治経済評論の乱読（特に司馬遼太郎、佐藤優、村上春樹、井沢元彦、日高義樹、高橋洋一など）そしてオーディオと8Kビデオなどです。オーディオ好きはシステムをどんな機器の組み合わせにしているのか興味があると思いますので少々マニアックにはなりますが紹介します。自宅ではソナス・ファベールのスピーカー、ストラディバリ・オマーージュにCHORDのDAコンバータ（DAVE+M scaler）とブルメスターのパワーアンプ911mK3のシステムと、今は亡きフランコ・セルプリンの伝説のスピーカー、アッコルドにDEVIALET240のプリメインアンプの2つのシステムで主にクラシックやジャズのハイレゾファイルを楽しんでいます。クラシックのお気に入りにはプロコフィエフ、ジャズは山中千尋で、最近ではスーパースター藤井風も非圧縮音源になったApple Musicで一日中聴いたりしています。またご存じの方も多いと思いますがNHKの8Kスペシャル、いまよみがえる伝説の名演奏・名舞台と題するドイツで冷管保存されていたカラヤンやベーム、カルロス・クライバーやバーンスタインの8Kで復元された映像は実際にコンサートホールの最前列の席でも見ることでできないようなアングルでとらえられており驚くばかりですが、ソニーのブラビアZ9Hとシャープのアクオス8T-C80AX1の2つのTVシステムで楽しんでいます。8T-C80AX1の音声はストラディバリ・オマーージュのシステムに出力していますがM scalerを通すとテレビ音声出力とは思えないほど音数を増し、艶が香るような音が出るので主に先ほどのような8K音楽番組を聴いています。Z9HにはDENONのAVアンプAVC-A110をソナス・ファベールのスピーカー、アマティ・オマーージュにつないでいますがタイムラプスなど8K映像自体を楽しむためにはこちらを使っておりNHKの8K放送はHDにほぼ全録しています。最近では宝塚歌劇の美しい8K放送を中学生の娘と一緒に鑑賞しています。DENONのAVアンプは8K入力対応となっているのでCanonのミラーレス一眼EOS R5で撮った8K30pの家族のビデオ映像をTiger Lake CPUとIntel Iris Xeグラフィックス搭載でThunderbolt4出力対応のVAIO-Z勝色で出力しようと思っていますがなかなかうまくいきません

（詳しい方がいれば教えてください）。はやく8K対応ビデオレコーダーが出て欲しい！

さてこのままオーディオの趣味の話が続けようと思ったのですが、表題の夢がかなった学会の話題にします。大学時代から学会に行くのが好きで特に専門外の学会で教育セッションなどを聴くことを楽しみの一つにしていたのですが開業医になってから行けたのは循環器学会、心臓病学会、内科学会、医学放射線学会、画像医学会、糖尿病学会、リウマチ学会、睡眠学会ぐらいで、しかもすべての日程に出席すると患者さんやカミさんからクレームが出るため循環器学会と動脈硬化学会、心臓病学会、睡眠学会以外はなるべく土曜日と日曜日に限定しておりました。リウマチ学会のように月曜日から水曜日などといった日程が組まれるとたまたま休日と重ならない限りはお手上げの状態でした。ところがなんとコロナになってからすべての学会がWEB開催となり、しかもリアルタイムばかりでなくオンデマンドでの視聴が可能になり、以前であれば時間帯が重なってきけないシンポジウムなどもすべて視聴可能になりました。人気のあるシンポジウムなどは会場が満席で立ち見のこともよくあったのですが、今はのんびり自宅のソファで視聴しています。さらに交通費やホテル代がかからず経済的メリットも大変大きく夢がかなったと喜んでいました。2021年に顔を出したのは、これまで出席していた学会に加えて神経学会、超音波医学会、腎臓学会、呼吸器学会、核医学会、内分泌学会、シェーグレン症候群学会、心不全学会、アレルギー学会、高血圧学会、サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会、認知症学会、頭痛学会、分子生物学会などで、すべての演題を視聴する時間はとてもなく、土日は部屋にこもりっきりの状態になってしまい、カミさんから、またもやクレームをつけられてしまいました。コロナが終わってもWEBと現地でのハイブリッド開催、オンデマンドはぜひ続けて欲しいと切に願うばかりです。今、注目なのはなんといってもメタバース（仮想空間）ですが学会もアバター出席になれば面白いと思いますし、買い物も旅行もメタバース内で行う動きがすでに始まっていますが、沖縄だけは実際に早く行けるようになりたいと思う今日この頃です。

# コロナ禍でヲタクライフ

留萌医師会  
銭丸眼科

ぜにまる たつや  
銭丸 達也

原稿依頼が無い降りてから、普段ほぼ読まない北海道医報を手に取り何を書こうか考えた挙句・・・このタイトルですかと自問自答する私も58歳。

本来であれば、2013年の消費増税に関する有識者会議で、我らが師と仰ぐ日本医師会長を含めほとんどの有識者が増税賛成するというマクロ経済学を無視したポジショントークに走らせてしまった財務省の狡猾さ等の話をしたいのですが、浅学非才の私がしゃしゃり出た所で不興を買うだけです、別の機会に致しましょう。

さて、タイトルに戻りましょう。あれっ？ オタクの間違いですよと気付いてしまった貴方。修行が足りません。ヲタクで合っています。簡単に言うとオタク文化を極めるとヲタクにレベルアップしますとでも考えて結構です。

そんなヲタク文化に疎遠な貴方にお勧めするコンテンツを幾つか紹介しましょう。

①ウマ娘 プリティーダービー (PC iOS 11.0 Android OS 6.0)

アニメの方ではありません。いわゆるガチャゲです。スマホとPCは連動できます。スマホはガチャリセット技ができますので、スマホでチュートリアルをこなし無料ガチャでSSRサポートカードを複数枚ゲットできたら、リセット技ができないPCに移行するのが正しいルートですね。ちなみにゲームを始めるにあたり、なぜ馬が娘なのだと考えてはいけません。牝馬限定なのかねと疑問に思ってもいけません。なぜなら牝馬は全て牝馬に変換されているからです。

さて、チュートリアルを進めていくとこんなレースにぶち当たります。

(G1 東京芝2400m) 1. ナリタブライアン 2. シンボリルドルフ 3. マチカネフクキタル 4. アグネスタキオン 5. ハルウララ 6. ナイスネイチャ 7. グラスワンダー 8. サイレンススズカ 9. スペシャルウィーク 10. トウカイテイオー 11. メジロマックイーン 12. ライスシャワー 13. ゴールドシップ 14. マヤノトップガン 15. ダイワスカーレット 16. ウオッカ 17. オグリキャップ 18. スーパークリーク

時空を超えたG1レースの始まりです。貴方はどの馬(ウマ娘)が来ると予想しましたか。5以外は全部ありそうですねと思った貴方はこのゲームをやるべきです。このゲームをなぜ勧めるのかと言

ますと、史実の馬と勝負服、そしてエピソードを基に作成されているところが素晴らしいからです。例えば、シンボリルドルフは緑色でいかにも皇帝が纏っていそうな衣装となっています。そして、ヲタクを極めた達人になると、馬体の大きさが身長だけでなく胸のサイズにも表れているとか、右耳にリボンがある子は牝馬で左耳だと牝馬とか細部にこだわりがある作品になっていると気付くはずですよ。そう言った貴方は次のステージに移動しましょう。

②dアニメストア

月額420円のアニメ見放題サイトです。会社名はdが付くので察してください。古くはフランダースの犬や巨人の星、新しい物ではその着せ替え人形は恋をする等の新作アニメまで多様なラインナップとなっております。但し著作権がうるさそうなガンダムシリーズが極一部しかないのが弱点です。入会しましたら、まず貴方が見るべきアニメはウマ娘プリティーダービー season1です。ゲームにも登場したウマ娘たちが、実際の競走馬の物語をモチーフとし、事実に基づいた表現を心掛けたフィクションで活躍します。season1はスペシャルウィークがseason2はトウカイテイオーが主人公です。ここでヲタクな貴方に見てほしいのはゲームとキャラの顔が結構違うということです。2016年のゲーム発売プロモーションから2021年2月の発売開始まで5年待たせた理由がここにあります。ここで真のヲタクを極めた貴方は感涙にむせぶことでしょう。そうしてレベルアップした貴方は次のステージに移動しましょう。

③ウマ娘フィギュア作成

4月頃から各社発売予定となっております。ここまで来た貴方は小生を超越したステータスになっていますので、貴方がこの続きを執筆していただくと幸いです。

以上になります。

なお、利益相反はないことを追記しておきます。

# みすゞさんの桜と、 のり子さんの空

函館市医師会  
函館渡辺病院

みずせき  
水関

きよし  
清

この国に生きて春を迎える喜びのなかで、しっかりとその一角を占めてきた「花見」。その愉しみが、密集・密接を避ける、という号令の下で見送られたのが、2020年春であった。

それまで、現代人にとって消極的価値しか持たないと思われてきた、出歩かないこと・人に接しないこと・境界を越えて他所に行かないこと、などの行為が、一転してこれほどまでに、生きのびるための積極的な意味を付与されることになった、忘れがたい春でもあった。

終戦を動員先の海軍の工場で迎えた当時、二十歳目前だった詩人・茨木のり子は、「根府川の家」で、「沖に光る波のひとひら／あゝそんなかゞやきに似た／十代の歲月／風船のように消えた／無知で純粹で徒勞だつた歲月」と、慨嘆した。そして、過ぎ去った時間の重さを思い、代表作「わたしが一番きれいだったとき」には、次のように書いた。

「わたしが一番きれいだったとき／街々はがらがら崩れていって／とんでもないところから／青空なんか見えたりした（中略）だから決めた できれば長生きすることに／年とってから凄く美しい絵を描いた／フランスのルオー爺さんのように／ ね」

これを承けて構想されたものかもしれない、もう一つの代表作「さくら」には、こうある。

「ことしも生きて／さくらを見えています／ひとは生涯に／何回ぐらいさくらをみるのかしら／ものごころつくのが十歳ぐらいなら／どんなに多くても七十回ぐらい（中略）さくらふぶきの下をふららと歩けば／一瞬／名僧のごとくにわかるのです／死こそ常態／生はいとしき蜃気楼と」

1982年6月20日、3冊の詩作手帳『美しい町』『空のかあさま』『さみしい王女』の存在が明らかになったことを契機として再発見が進んだ、大正末期から昭和初期の時代に500編余の詩稿を残した詩人・金子みすゞには、「灰」という作品がある（金子みすゞ童謡集「明るいほうへ」JULA出版局、1995.）。

「花さかじいさん、はいおくれ、／ざるにのこったはいおくれ、／わたしはいいことするんだよ。

さくら、もくれん、なし、すもも、／そんなものへはまきゃしない、／どうせ春にはさくんだよ。

一度もあかい花さかぬ、／つまらなそうな、森の木に、／はいのありたけまくんだよ。

もしもみごとにさいたなら、／どんなにその木はうれしかろ、／どんなにわたしもうれしかろ。」

日頃、気づかれぬものや、見過ごされがちなものに焦点を当ててきたこの作者の、優しいだけではないものの見かたの新鮮さがうかがえる。

「花さかじい」の原典によれば、「灰」は、正直

爺さんの愛犬・白の墓標がわりに植えた松を伐って白にしたものを、隣人の意地悪爺さんが燃やしたものである。その灰を、愛犬・白の墓のところにまで持ち帰る途中、にわかにかいてきた風が、灰をいっぱい吹き散らしてしまい、灰が着いた梅や桜の木には、途端に花が咲いて一面の春景色になったという（楠山正雄編「日本童話宝玉集」（上中下版）（童話春秋社から1948～1949年発行）を底本の親本とした青空文庫の記載による）。愛犬・白に対する隣人の意地悪に耐えている正直者の爺さんは、自ら花を咲かせることを望んで灰を撒いたのではなく、たまたま吹いてきた風が、もともと花の咲く木に灰を吹き付けたために、一面の春景色になって、嘆く正直爺さんを喜ばせたのである。

金子みすゞは、自らが「花咲かじい」譚のなかの「風」になることで、花の咲かない木にも、灰の力で見事な花を咲かせられたら、木もうれしいし、その花を見た作者・みすゞもうれしい、というのだ。

花を見て、人のこころは愉しむのである。そして、同じ花を見上げる他者のこころの中に、自らと同じ思いのあることを想像しながら、その花の下で人びとは食を共にするのである。満開の季節の後、旺盛な茂りを見せる葉桜の時期がやってくる。独特の甘い香りを放つオオシマザクラの、伸び始めたばかりの柔らかい葉を塩づけにしたもので包んださくら餅は、湿った竹皮の中で光を蓄える。塩漬けにすることで甘い香りを際立たせた若葉に包まれた、餅生地のおもてには、地上にこぼれ落ちてきた花明かりが、つぶつぶの光となって宿る。ひと口含めば、かぐわしい若葉の香りは鼻に抜け、続いて餡の甘さが少しずつ広がり始める。お互いの瞳の中に生まれてきた笑みを確かめ合ったのち、甘さを呑み込んだばかりの口許から、思わずこぼれ出てくる笑みもまた、確かめ合う。

このように、日々私たちがいただく食べ物には、色があり、香りがあり、光がそれに寄り添う。それらは本来、自然の息吹きが蓄えた、彩りのなかから生まれ出たもの。そのような四季の恵みに人びとの手が加えられて食卓にのぼると、それらの恵みを食べた人のいのちへと、姿を変えていくのだ。

人が言葉を持つ前に、人と人をつないでいたのは、食事だった。そして、同じ場所でもともに食べるということ、さらに理解したのだ。身体とともに、こころのなかにも、栄養を通わせることができるということ。ともに食べるということは、人と人との協働の根元にあつて人類の進化を支え続け、そうした長い過程の中で築き上げられてきた、ヒトにとって大切な「社会力」なのだ。

限られた人とだけ、限られた場所で食べる、「三密」を避けるための新しい食の形。その基盤の脆さをも思い知らされてきた、2020年春からの日々。身体だけは一応満たされるが、こころは悲鳴をあげる。

わかったつもりになっていた、ともに食べることで発展してきたヒトの社会の実像は、途方もなく多くの要素が組み合わさられて、互いに干渉することなく動いてきた偶然の産物だったのではなからうか。

# apoptosis

札幌市医師会  
札幌西の峰病院

やまもと けんじ  
山本 健治

令和4年度新型コロナウイルス感染対策予備費5兆円。

困窮学生への緊急給付金総額700億円。50倍以上がコロナ関連。未来を縮める自死のようです。

(私はこの騒動に貢献できたのか。発熱の鑑別はコロナ一択脳になっていないか)

(私はコロナ特需じゃないのか)

胸に手を当ててみる。(免疫ってなんだっけ。ワクチンってなんだっけ)

このお金で救われているのは私だ。疾しい気分になる時があります。

松田政策研究所チャンネルやこどもコロナプラットフォームをご存じですか。

オミクロンならぬ、オ○さんの病院がコロ○病棟でどれだけ利益を得たかなど事実がわかります。

さて、日本RNA学会というサイトにたどり着きました。mRNAワクチンについて本気で真剣に考えている。ワクチンを接種して欲しい側の真剣さです。十分な説得力です。

私は無知な薬売りに過ぎないと自信は無くなりましたが。笑。

一方で、国体や政体のやることなすことの不自然さに翻弄され疲弊し、生存をかけて研ぎ澄まされた瞳を得た市井の人々は覚醒そして進化する。いつの日か火山のように突然噴火するのでしょうか。富士山の別名は不死山です。頑張ってください。

YouTubeではコロナ、ワクチンが禁句で削除されて久しい。2年以上前に論文投稿しましたが、査読でも端的な表現は訂正された記憶があります。最後は婉曲した表現に妥協して論文は意見として採用された。現在の困窮する現実社会の加速への抵抗力にもなってません。

私個人の無力の言い訳が欲しい。気がつけば悲観的な自分がある。

最近、副作用症例報告をとある学会に提出する機会がありましたが、やはり不採用でした。

伝えたい必死さより待つ冷静さが必要だ。仕方ない。無知の罪だから。悔しいですがそう思います。明るさと希望、そして未来が一番大切ですから。

さて、日本RNA学会会報には私にとって大変、刺激的な内容です。

聞き飽きた情報と深みが違う。まるでct値を下げたようなシャープな情報を数例記載してみましよう。

\* コロナウイルス自体のmRNA転写合成メカニズムが不明。

\* 転写をはじめのキャッピングの酵素遺伝子のコードが不明。

\* コロナウイルスの不連続転写の危険性。

\* 作製される新型コロナmRNAは自然免疫を回避し、s蛋白の抗原性を高めていく。

\* 今後は細胞性免疫をも避ける環状mRNAワクチンの作製予定。

\* アビガンは出来損ないの抗がん剤という不遇の歴史を持つ。構造式がシンプル過ぎて密造できる。

\* イベルメクチンが効果的な薬剤ならその作用機序は核内に作用しうる。不安定で直ぐにリボゾームで分解されmRNAは核に移行しないとされる常識が覆るかも。

何回読んでも、流れるような理解には至りませんが、学問の厳しさがヒリヒリと心地よい。

本来なら、あちこちで、相反する意見が並列に並び、冷静で開けた自由で活発な議論の先に真実が宿るのでしょう。

最後に。参考文献5)はs蛋白の抗原部位を選択することでADE(抗体依存性感染増強)を生じにくくする抗体作製など特に示唆に富む知見であることを付言します。

本文のタイトルは東大児玉名誉教授のコロナ自死説ではなく、好きな髭ダンの曲より拝借しました。機会があれば参考文献を手にとってみる価値はあると思います。

## 参考文献

- 1) 上久保靖彦:ここまでわかった新型コロナ. ワック株式会社, 2020
  - 2) 小林よしのり、井上正康: コロナとワクチンの全貌. 小学館新書, 2021
  - 3) 近藤誠: 新型コロナワクチン副作用が出る人, 出ない人. 小学館, 2021
  - 4) 宮沢孝幸: 京大おどろきのウイルス学講義. PHP新書, 2021
  - 5) 村上康之: すべての新型コロナ変異株に対応? 「口内に噴霧」の非mRNA型予防薬、商品化へ, ForbesJapan web 2021
  - 6) 長尾和宏: ひとりも、死なせへん. ブックマン社, 2021
  - 7) 中村篤史: コロナワクチン, 被害症例集. ヒカルランド, 2021
  - 8) 岡田正彦: 大丈夫か, 新型ワクチン. 花伝社, 2021
  - 9) 大橋真: 新型コロナワクチンの闇. 知玄舎, 2021
  - 10) 大橋真, 細川博司: PCRとコロナと刷り込み. ヒカルランド, 2021
- \* \*) 日本RNA学会会報 (web)

## スタンダード症候群

札幌市医師会  
札幌清田病院

やまうち なおふみ  
山内 尚文

人名のついた症候群は少なからずあるが、この症候群は、「赤と黒」や「パルムの僧院」で、フランス文学史上名高い小説家スタンダールの名がついている。スタンダールが、1817年に、初めてイタリア旅行をした際に、フィレンツェのサンタ・クロッチェ教会で、 Fresco画を見上げていた時のエピソードに由来する。彼は、こう記している。「僕は祈禱台の足乗せに坐り、顔をそらせて、聖書台に寄りかかって、天井を眺めることができたが、ヴォルテラーノの巫女たちはおそらく僕に、絵画がこれまでに生じさせたもっとも激しい喜びを与えてくれた。僕は自分がフィレンツェにいるという考え、墓を見たばかりの偉人たちの近くにいるという考えに、すでに一種の恍惚状態であった。崇高な美を熟視することに没頭して、僕はそれを間近に見て、いわばそれに触れていた。僕は美術から受けたこの世ならぬ印象と興奮した気持ちが混じり合ったあの感動の頂点に達していた。サンタ・クロッチェを出ながら、僕は心臓の動悸、ベルリンでは神経の昂りと呼ばれるものを覚えていた。僕の生命は擦り減り、倒れるのではないかと心配しながら歩いた。」<sup>1)</sup>。この教会には、マキャヴェッリ、ミケランジェロ、ガリレオらが埋葬されている。172年後の1989年、フィレンツェの精神科医グラツィエラ・マゲリーニが、同様の症状を呈し、フィレンツェのサンタ・マリア・ノヴェッラ病院を受診した外国人患者106例をまとめ、スタンダード症候群と名付けて報告した<sup>2)</sup>。その機序として、偉大な美術品に接し、あまりにも圧倒された時に、自分自身を制御しきれないほどの情動により、眩暈、動悸、幻覚、方向感覚の喪失、離人症、胸痛、発汗、脱力、疲労感、不安などの症状が引き起こされるのではないかと説明されている<sup>3)</sup>。

30年近く前であるが、私も同じような体験をしたことがある。奇しくも、初めてイタリアを訪れ、同じフィレンツェのウフィツィ美術館に行った時のことである。この美術館は、ルネサンス美術の宝庫として知られているが、「ボッティチェリの間」に入り、かの有名な「ヴィーナスの誕生」と「プリマヴェーラ（春）」を目の当たりにした時である。「あーっ、これか！」と、衝撃を受けるような感動を覚えた時に、突然、気の遠くなるような眩暈に襲われた。その後は、集中して鑑賞することができず、美術館を出るまで、ふわふわするような酩酊状態が続いた。後年、この症候群の存在を知り、考えてみれば、自

宅にあった美術全集「世界の美術館」を、小学生の頃から折にふれて見ていて、特にお気に入り、ルーヴル美術館とウフィツィ美術館だった。なので、レオナルド・ダ・ヴィンチ、ミケランジェロ、ラファエロ、そして、ボッティチェリなどのルネサンスの絵画をぜひ一度は見てみたいと思っていた。長い間の念願がかない、ルネサンス美術が開いた、まさにその地で、本物を見ることができたという感動が、あの症状を引き起こしたのかと納得がいったのである。ところで、この症候群は、美容院脳卒中症候群との関連を指摘されることがある。洗髪時に仰臥位で頭部を後屈することで、椎骨動脈が圧迫され、脳血流が一時的に阻害されるために、同様の症状が起こると推測されている<sup>4)</sup>。確かに、スタンダード本人も、「顔をそらせて」と書いているし、私の場合も伏線があり、2日前に、ヴァチカン美術館を訪れ、回廊の壮麗な天井装飾画や、システーナ礼拝堂のミケランジェロの天井画を長時間見上げ続けていたのである。その影響が少なからずあったのかもしれない。しかしながら、これらの症候群を同一のものとするのは、なにやら味気ない気がする。頭部の後屈は、原因の一つかもしれないが、なによりも、人生で何度もあるとは思えない強烈な感動という最も重要な要素が抜け落ちてしまっているではないか。症状は似ているが、別々の症候群と考えたいと思っている。コロナ禍が明け、また、あの魂のふるえるような瞬間（眩暈は困るけれど）に出会える日が来ることを願っている。

〈参考〉

- 1) スタンダール著：白田紘訳「イタリア旅日記2 / ローマ、ナポリ、フィレンツェ（1826）」新評論1992.
- 2) Magherini, Graziella: La sindrome di Stendhal. Ponte alle Grazie, Firanze 1989.
- 3) Leonardo Palacios-Sánchez, et al: Stendhal syndrome: a clinical and historical overview. Arq Neuropsiquiatr 2018; 76: 120-123.
- 4) Weintraub MI: Beauty parlor stroke syndrome: report of five cases. JAMA 1993; 269: 2085-2086.

# Fancy Fragments of “Fantasy” Fitted For Feasible Facts Polylogue@JK Fugitive Fromm Freud Four Freedoms

札幌市医師会  
華岡青洲記念病院

はなおか けいいち  
華岡 慶一

私は、札幌の2月が好きではない。正確には、苦手というべきか。

振り返っても、すぐに思い浮かぶ記憶はあまり楽しいわけではない。

それにしても、今年の2月は、ひどい。記憶の及ぶ中で、雪という点では最悪の年だ。

……確か、あの高校3年の冬もそうだった……。

私は、大学受験に向けた最終学年になっていた。英語を通したKM先生との緊張しながらも充実した時間もなくなり、ちょっとしたスランプ（抑うつ状態）に陥っていた。KM先生の進路に対する言葉が耳に残っていた。もしや、KM先生は、私のなかに母への「エディプス・コンプレックス」の存在を感じていたのか（フロイトに分析を依頼したら「典型的」と即答しただろう）。だからこそ、彼女はあのような警告を発したのではないか——それは、僕自身への問題指摘だった。

……かつてあの日、いわば思索のポーズボタンを押したような高校生活だったが、心は、次第に自分を取り巻く現実から遠ざかっていくような気分で塞ぎ込んだ。秋の夜空を見上げながら「くだらねえ〜、とつぶやいて〜」と口ずさみながら……次のステージへ行かなければ……でも一体どこへ？ その時はまだ知らなかった（気づいてなかった）。今宵の月とは別の月が存在することを……。

当時、高校の授業は、ほとんど\*\*ゲーだった——後に知ったことだが、1年後輩に伝説のゲームクリエイター（ないものは自分で作る天才！）がいたそうだが、残念ながら、京都で早世してお目にかかる機会はなかった。

心は、雪の季節になるといっそう塞ぎ、感情は冷え切った。スキゾフレニア的に浮かぶ冬の出来事の数々。「柔道乱取り骨折事件」「雪戦会乱闘未遂事件」「幻の究極シュート事件」「セント・ヴァレンタインデーの喜劇」「ある阿呆生徒と教師の一瞬」といったそれ自体は、輪郭を持った出来事。各々の輪郭は明瞭なのだが、全体（画）像の構成が思い浮かばない。それは、色彩を持たない白の世界。言い換えれば、出来事の断片は明瞭に思い浮かぶのだが、当時の感情と行動の関連性（彩り）がまるで記憶に見当たらない。要するに「只々つまらなかった」ことなのだろうか。

さして、何か目的があったわけではない。その時は、自分の問いに対して、答えてくれなかった、故郷・北海道・札幌（親元）から離れたいと漠然と感じるようになった。

——同様に、屈折した高校生活を送った先輩「西部邁」の言うところの——棄民の地（パラノイア）・開拓の地（スキゾ・ノマド）——フロンティアスピ

リットに満ちた希望の地——の表象記号（故郷・フルサト）の言語的構造（同一性・差異性・相互斥力可塑性・共時性）のシニフィエ（意味）は？ あの東京（パラノ？）——漱石の『こころ』の「先生」がいた所、芥川が、永井が、谷崎が、紅葉が生まれ鏡花や太宰が目指した所——とは違うのか。フィールド（集団・階級）の差異で所属するエージェント（心）の行動表象特性・「ハビトゥス」は変わるのか（ブルデュ）？ あるいは、地域を問わない、資本主義社会に蔓延したマックス・ウェーバーの「鉄の檻」中で自ら進んで囚われた者のメタファーなのか？ 畢竟、強い渴望として、今までとは違う環境で自分を感じてみたいと思った（逃走）。自分の脳というフック（釘）に引っ掛かっている何かで（叫んで）いた。そして、「アンチオイディプス」という逆逃走（Fromm）の旅に出た（プレイバックボタンを押した）。例えるなら、この時、私はこの宇宙との関わり方として、Astronomer（天文学者）ではなく、Astrologist（占星術者）でもなく、Astronaut（宇宙飛行士）の道を選んだ。

人生において、気がつかないところで、慢性的な自滅的活動（精神的にも身体的にも）をしていることがある。もし、自分が現在取り込まれている（選び取った）状況によって、理性（習慣的感性）が——ヒュームの言うように知覚の束として——形成されるならその束を形成する一つ一つの要素を吟味できる環境に身を置くべきであろう。しかし、その当時の選択肢は限られていた（超越論的解決も含めて）。厄介なことに、そんな時期に、私に言語ゲームとしての「言語論的転回」（Linguistic Turn）が訪れたのだ。私は、ラカンの言う「欠如」を埋めようと、もがいていた。その時、私は、正に「祝祭」を必要としていた。

——その後の出来事はいつかその外套を羽織る時に書いてみたいが、どうやらそれは、今ではないようだ。……漠然と江戸が好きだった（東京ではない）。兎に角そこで、ジュリア・クリステヴァ（JK）、バタイユ的に、「差異と反復」を意識し、「秩序と混沌の弁証法」を実践に移した。さらに、差異が正か負かで前後の大小関係を決定し、それを細かく反復することで、生成過程を微分的に分析した（ドゥルーズ・ガタリ）。その結果、その新たな弁証法（ヘーゲルの進歩史観とは異なる）の経験以来、私は象徴秩序の現状のみに囚われる感覚を臆病と見なし、それを取り繕う論理を卑怯と断じる（認知的斉合性理論の家畜）ようになった。改めて、ソシユールの構造的言語概念を援用して言えば、それぞれが対応する、差異的（棄てられた者たち・フロンティア精神）・恣意的（高度経済成長期の差異関係の気ままな配置）・共時的（家族も含めた関係性の時代的横断面）の意味（象徴秩序構造）を知るには、その記号的括りの外に出て、カオス・セミオティック——エロスとタナトスのせめぎあい——の中へ入らなければ判らないと思った。次回、母親から“Baby you can Drive My Car. And maybe I'll Love You.”と言われてきたとの妄想「エディプス・コンプレックス」からの逃走報告（プレイバック）をして、エピローグとしたい。

## 病気になってわかったこと

札幌市医師会  
元町総合クリニック

うえの よういち  
上野 暢一

昨年5月、脳腫瘍が見つかり手術を受けました。発覚する2ヵ月前から手足先にしびれを自覚するようになり、週1回くらい嘔吐するようになりました。なんだろうと思っているなか、車を運転している最中に急に眼の焦点があわなくなり景色が2重に見え、これは危険だと感じて精査を受けたところ5cm大の小脳腫瘍が見つかりました。

北海道大学病院で血管芽腫という良性腫瘍と診断を受け、治療していただきました。命を救ってもらい、安心して医療を受けられたことへ担当の先生をはじめ、チームで診療いただいた北海道大学病院には心から感謝しています。

今回の体験を通じて学びとなったことが3つあります。一つ目は医者だから大きな病気があれば自分で分かると過信していたことです。振り返ってみると診断されるまでいろいろ症状がありました。そのように脳腫瘍の可能性を考えればよかったということが多々あり、想起できない疾患は鑑別にもはならないことを痛感します。もちろん不確実性のなかで診療する私たちに完璧は存在しないですが、その分謙虚であらねばと思います。

もう一つは支援制度の存在です。手術からリハビリでの入院期間中、高額療養費制度を利用させていただき、また3ヵ月以上勤務から離れた間、傷病手当金を受給しました。それでも収入がなくなり手当金が支給されるまで毎月貯金が減っていくことに、妻から当時はとても不安だったと話してくれました。「患者中心の医療の方法 原著第3版」では、『医療者とその患者との人間関係を含み、保健医療制度が全体としてコンテクストの重要な一部であることを臨床家はいつも認識しておくことが大切です。』と述べられています。病気により就労ができなくなることが家庭の経済状態に深刻に影響すること、居住する地域・国レベルでの支援制度の存在が強く影響を与えることを実体験し、日本人でよかったと思います。

最後に今回の経験を通じ、生きていることが当然ではないと実感しました。ただその思いは日々を過ごす中でだんだん薄れます。それでも子供の誕生日といった人生の節目を一緒に味わうことができたり、「パパー」と子供が抱きついてきてくれたりといったふとしたことが生きているからこそ味わえている時間なのだとしみじみ感じています。

## 多発性嚢胞腎を捜せ

札幌市医師会  
(公財)北海道労働保健管理協会 札幌総合健診センター

なかむら かずひろ  
中村 一博

常染色体優性多発性嚢胞腎 (autosomal dominant polycystic kidney disease: ADPKD) は最も頻度の高い遺伝性腎疾患であり、両腎に多数の嚢胞が進行性に発生・増大して70歳までに約半数が末期腎不全に至る指定難病です。最近まで特別な治療法はありませんでしたが、トルバプタンが腎容積増加と腎機能低下を抑制する作用によりADPKD治療薬として、2014年に日本で承認されました。トルバプタンには「両側総腎容積が750ml以上かつ腎容積増大速度が概ね年間5%以上」と適応に制限があり、根治ではなく腎不全の進行を遅延させる効果しかありませんが、今まで治療法が無かったのに比べれば画期的です。

治療法の進歩に伴い、日本人間ドック学会の腹部超音波検診判定マニュアルの判定基準も2021年6月に改正されました。それまでは腎臓に「大小の嚢胞が両側性に集簇し腎実質が不明瞭」な所見のとき「多発性嚢胞腎：要経過観察」という判定でしたが、2021年版では腎臓に「5個以上の嚢胞を両側性に認める」という所見で「多発性嚢胞腎：要精密検査」という判定になりました。早期発見を進めたい学会の意思の現れかと思われます。判定基準の改正から当センターにおける腹部超音波検診でも、すでに数例のADPKD疑いの受診者が見つかっています。

もちろん、多発する腎嚢胞の全てがADPKDではなく、除外すべき疾患は、多発性単純性腎嚢胞、尿細管性アシドーシス、多嚢胞腎、多房性腎嚢胞、髄質嚢胞性疾患、多嚢胞化萎縮腎、常染色体劣性多発性嚢胞腎とたくさんあります。しかし、まず疑わなければ、いつまでもADPKDは見つかりません。ADPKDの患者数は全国で約3万人と推定されており、これだけ多くの患者の腎不全の進行を遅延できれば有意義なことだと思います。

ADPKDは高血圧、多発肝嚢胞、脳動脈瘤、心臓弁膜症、尿管結石などを合併することが多いと言われています。これらの疾患のために先生方の外来に通院している、隠れたADPKD患者もいるはずで、先生方が診療時に腹部超音波検査で5個以上の腎嚢胞を両側性に見つけたときは、ADPKDについても精査を要すると思われます。CT・MRIは超音波検査と比べ腎嚢胞の検出率が4倍と言われています。超音波検査では5～6個しか見えない腎嚢胞が、CT・MRIではブドウの房のように見えることもあります。ADPKDが疑われる患者を見つけたら、CT・MRI検査が可能な病院の腎臓内科もしくは泌尿器科へ紹介してあげてください。

# 高度認知症を合併した血液透析患者を診る ～興味深さと苦悩～

札幌医科大学医師会  
札幌朗愛会病院 人工透析センター

たかはし かなこ  
高橋科那子

認知症高齢者の数は年々増加し2012年で462万人でしたが、2025年には700万人になり65歳以上の約5人に1人が認知症になると推計されています<sup>1, 2)</sup>。わが国の高齢慢性透析患者のうち、認知症合併例は透析患者全体の10.8%であり、そのうち75歳以上は24.3%です<sup>3, 4)</sup>。

札幌朗愛会病院は急性期一般病棟34床、医療療養病棟52床、地域包括ケア病棟12床で、そのうち半数は血液透析患者です。入院透析患者の平均年齢は75歳、平均在院日数は203日であり、他院で血液透析を導入された後、高度認知症やADLの低下から通院不可能となった方々を受け入れています。

私は2018年から人工透析センターで非常勤医として血液透析業務をさせて頂いています。もともと超急性期病院で勤務しており、認知症患者と長期に接するのは当院が初めてでした。それまでせん妄に対する薬物療法しか行っておらず、認知症患者への接し方から薬剤調整まですべてが未知の領域でした。いざ患者と接してみると、もともとの性格なのか、認知症なのか、精神疾患なのか判別できませんでした。毎回挨拶をするよう努め、徐々に顔と名前を覚えてもらえるようになりました。

月日が経つにつれ、一人一人の性格が分かりました。ひどい暴言・暴力により家族が世話をしきれなくなったアルツハイマー型認知症の男性は、実は毎日日記を書いていて庭いじりが好きなこと、毎夜病棟を徘徊しているアルコール性認知症の男性は、実は新聞配達を行っていたため深夜に起床する生活を長年送ってきた、などです。指導医や病棟・透析スタッフの日々の対応から、患者の生活背景を知り生活習慣・環境・補助療法を利用した非薬物療法の重要性を実感し、患者への親しみも深まってきました。

一方で当院への転院・加療の目的は、血液透析療法の継続です。一部の認知症患者において3時間以上ベッド上で安全に実施するには、透析実施のたびに鎮静薬や眠剤を使用せざるを得ないことも多くなり、治療と個人の尊厳とのジレンマを抱えるようになります。鎮静や身体抑制を減らすため患者の行動の意図を探り、別の方法で対応可能かを協議しますが、スタッフ人数の少なさからリスク回避を重要視する傾向となります。

2020年に日本透析医学会から『透析の開始と継続に関する意思決定プロセスについての提言』<sup>5)</sup>が

改訂公表されました。上記のような患者は『透析の見合わせについて検討する状態』であると提言中に記載されています。当院へ入院した時点でどのような状態が『患者の最良の医療とケア』なのか、日々模索しています。導入施設または維持施設においては、先の見通しについて十分に検討することが重要と考えます。

当院において透析の見合わせについて検討する時期は、医療チームが人生の最終段階と判断した時点です。医師、看護師、臨床工学技士、理学療法士、管理栄養士、社会福祉士、ケアワーカー、薬剤師で構成された多職種カンファレンスを開催し、患者の現状を共有するとともに苦痛のない最期を迎えられるよう方針を協議しています。

高度認知症を合併した血液透析患者の人間味に親しみを持ちながら、今後は意思決定能力の有しない患者に対する最良の医療とケアに関して知見を深め、よりよいサービスの提供を目指していこうと考えます。

## 【参考文献】

1. 内閣府. “高齢者の健康・福祉”. 平成29年版高齢社会白書（概要版）, ([https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2017/html/gaiyou/s1\\_2\\_3.html](https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2017/html/gaiyou/s1_2_3.html), 2022年2月閲覧).
2. 二宮利治. 日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究. 平成26年度 総括・分担研究報告書（厚生労働科学研究費補助金 厚生労働科学特別研究事業）. 2015, 2-19.
3. 日本透析医学会. わが国の慢性透析療法の現況（2018年12月31日現在）. 日本透析医学会雑誌. 52（12）, 2019, 679-754.
4. 日本透析医学会. わが国の慢性透析療法の現況（2019年12月31日現在）. 日本透析医学会雑誌. 53（12）, 2020, 579-632.
5. 日本透析医学会. 透析の開始と継続に関する意思決定プロセスについての提言. 日本透析医学会雑誌. 53（4）, 2020, 173-217.